



## ごあいさつ



代表理事組合長  
山内 清久

平素は、JAめぐみのの各事業に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症はワクチン接種の4回目が実施されているところではあるものの、収束にはまだ時間を要することが予想され、この間罹患された方はもとより、コロナ禍の影響を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、感染拡大の防止に尽力されてみえます関係各位の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、組合を取り巻く経営環境は依然として新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことに加え、国際的な政治情勢の変化や為替変動の影響から物価が上昇傾向にあり、農業関連では燃料や飼料・肥料をはじめ生産資材等の高騰により、引き続き見通しが不透明な状況にあると認識しております。

こうした状況の中、令和3年度は第16回通常総代会で承認を受けた3カ年計画の最終年度として、ほらどキウイを未来につなげるためのクラウドファンディングによる苗木植樹やインターネットを活用した農産物販売の強化、長良川鉄道と連携した農産物輸送、LINEを活用したアンケートやスマホ教室等の新たな取り組みを行いました。明方ハム事業所では「安全・安心」の信頼性確保に向け食品の安全に関する規格であるISO22000を12月に取得しました。また、支店再構築も継続的に実施し、経営基盤の強化を図りました。

迎えた令和4年度は新たな中期経営計画の初年度となります。基本方針として定めた「対話を通じた農業・地域・JAの未来づくり」に向け、主要農畜産物の生産・販売強化による「持続可能な農業の実現」、地産地消の取り組みによる「食・農・暮らし」を通じた地域活性化への貢献、総合的な経営改革による「自己改革を支える経営基盤の強化」を重点に、役職員一同邁進して参ります。

おわりに、組合員・地域の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和4年7月